

2022年7月6日  
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

## ～カンボジア・ミャンマーの子どもたちに安全な水を～ 「イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」を通じ 5,505万7,855円を贈呈

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、7月1日(金)、皆さまからお寄せいただいた「イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」募金と当財団からの拠出金、並びにイオングループの店舗にてお買い上げいただいた「トップバリュ天然水」(500ml)の売上げによる寄付金を公益財団法人日本ユニセフ協会へ贈呈しました。皆さまのご協力に心より感謝を申し上げます。

2022年5月9日(月)～5月31日(火)の間、全国のイオングループの店舗及び事業所約7,000カ所において同キャンペーンを実施し、皆さまからお寄せいただいた募金は1,978万4,040円にのぼりました。また、期間中にお買い上げいただいた「トップバリュ天然水」(500ml)は、過去最高の3,097,955本をとなりました。イオントップバリュ株式会社による寄付金15,489,775円とイオンワンパーセントクラブからの拠出金を上乗せした総額5,505万7,855円を、カンボジアとミャンマーにおいて安全な水の供給や給水施設の敷設にお役立ていただきます。

贈呈式では、駐日カンボジア王国トウイ・リー大使にご臨席を賜り、日本ユニセフ協会より給水施設設置状況についてのご説明をいただきました。トウイ・リー大使より、カンボジアの一部地域において安全な水を利用できるようになりましたとの感謝のお言葉をいただきました。

カンボジアやミャンマーでは、池や河川の不衛生な水や人体に悪影響を及ぼす恐れのある物質を含んだ地下水が生活用水として使われている地域があります。また、遠隔地への水汲みに時間をとられ、学校の授業に出席できない子どもたちがいるという状況を受け、こうした子どもたちを支援するため、イオンワンパーセントクラブでは、2010年より本キャンペーンを継続しています。このキャンペーンによりこれまでに60万人を超える人々が、安全な水を使えるようになりました。イオンワンパーセントクラブは、これからも同事業を通じ、次代を担う子どもたちの健全な育成に貢献してまいります。



(公財)イオンワンパーセントクラブ理事長 森 美樹、駐日カンボジア王国大使館 特命全権大使 トウイ・リー 閣下



イオンスタイル スタッフ



イオンクレジットサービスインドネシア スタッフ



ウエルシア薬局 スタッフ

ワンパーセント  
イオン1%クラブの事業

イオンワンパーセントクラブは、イオンの基本理念「平和」「人間」「地域」を具体的な行動に移すため1990年に設立。イオングループ主要企業が税引き前利益の1%相当額を拠出し、次代を担う青少年の健全な育成に資する事業等の社会貢献活動を行う公益財団法人です。



次代を担う青少年の  
健全な育成

環境・社会をテーマに、子どもたちが社会的なルールを学びながら身近な地域の問題を主体的に捉え、考える力を育てます。また、教育施設が不足する国々の学校建設などを支援します。

諸外国との友好  
親善の促進

学生たちに国際的な文化・人材交流の機会を提供し、相互理解を深めることで日本と諸外国との友好親善を深めます。また、日本への留学生に対する奨学金授与など、国際人の育成を支援します。

地域社会の  
持続的発展

地域に根ざし、次代に引き継ぐべき伝統行事や文化の継承、そしてこれらを担う人材の育成などを支援します。また、大規模自然災害により被災した地域の復旧・復興を支援します。

寄付・協賛企業一覧はこちら  
<https://aeon1p.or.jp/1p/>

